

常総市立豊岡小学校版タイムライン ～台風（大雨）想定～

作成日：令和元年12月23日

タイムライン (目安時間)	気象庁・水戸地方気象台	茨城県・県教育委員会 市町村・市町村教育委員会	学校の対応	家庭
事前の備え			○学校所在地や児童生徒居住地の災害リスクを把握 ※洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域、土砂災害警戒区域にあるか否か等を確認する。 ○休校の判断基準の検討 ○学校の対応に関する保護者への事前周知	○ハザードマップの確認、マイ・タイムラインの作成 ○避難場所や避難ルートの確認 ○家族間の連絡方法の確認 ○非常時持ち出し品の確認
72時間前 (3日前)	○気象庁台風情報(以降、随時) 警報級の可能性(5日前から)		○テレビ・防災ラジオ・インターネット等による気象・河川・交通情報等の確認(以降、随時)	○テレビ・防災ラジオ・インターネット等による気象・河川・交通情報等の確認(以降、随時)
48時間前 (2日前)	○台風説明会(水戸地方気象台) 強風注意報 強風域入り 大雨・洪水注意報	○災害情報連絡担当者会議(県) ○メール配信による注意喚起(県教委)	○保護者への文書配付・緊急メール配信(非加入者の事前確認・電話対応) ※土日、祝祭日等の休業日をはさむ可能性がある場合は、早めに対応をする。 ●対応の見通し(休校の判断等) ●注意喚起(川に近づかない等) ●避難時の必要事項(避難場所、避難ルート、連絡方法、非常用品等) ●自宅周辺が危険な場合、自主的に避難等を判断することの確認 等 ○学校施設内の点検(風で飛ばされるようなもの等) ○教職員緊急連絡網・緊急メール、常総市防災担当部局連絡先の確認 ○避難所となった場合の教職員参集体制の確認と学校施設利用計画の確認	○避難場所、避難ルート、連絡方法、非常用品の再確認 ○自宅周辺の点検(風で飛ばされるようなもの等) ○学校からのメール確認
24時間前 (1日前)	大雨・洪水・暴風警報	○休校等判断後、メール配信・防災無線による周知(市教委)	○校内における災害対応の方針確認(管理職)→教職員へ共通理解を図る ○常総市教育委員会、近隣学校(西中、菅原小、大花羽小)との対応の検討・確認 ○防災無線による周知 ■休校等の措置をとる場合 前日から当日午前6時までの間に一斉メールで保護者に連絡する。 ■登校後に保護者に引き渡す場合 近隣学校と協議→一斉メールで保護者に迎えを依頼する。 ※河川氾濫、土砂災害等の危険が迫っている場合は保護者に引き渡さない場合もある。 ○給食センター、地域のボランティアへ対応の確認	○冠水などによる通行止め情報の確認(以降、随時) ○学校からのメール等の確認・防災情報の確認 ○学校へ子どもを迎えに行く ※河川氾濫、土砂災害等の危険が迫っている場合は迎えに行かない。 ○子どもへの声かけ(外出をしない、川に近づかない等) ○携帯電話の充電 ○防災グッズ・着替え等の準備 ○避難経路の確認
18時間前		○災害警戒本部設置(県)	○教育委員会へ災害対応を期限までに報告 ○保管書類・備品等の移動	○自宅近辺の状況を災害状況の確認 ○自宅近辺で浸水、土砂崩れ等のおそれがある場合、家庭の自主判断による安全確保(自宅又は避難所) ○避難所までの移動に時間がかかる場合は、早めに避難する ○支援を要する子どもがいる家庭は、早めに避難する
12時間前 (半日前)	○隣接県での大雨特別警報 暴風域入り		○自宅が遠い教職員に帰宅を指示(台風上陸想定時刻等を考慮) ※河川氾濫、土砂災害等の危険が迫っている場合や通勤ルートが通行止めの場合などは、学校に留まる指示をする場合もある。	○休校措置後、下校後、家庭において安全確保(又は避難) ○家族の安否状況の確認
6時間前	記録的短時間大雨情報 土砂災害警戒情報 河川氾濫警戒情報 大雨特別警報 これまで経験したことのないような大雨となり、重大な危険が差し迫った異常事態	○災害対策本部の設置(県・市) ○避難準備・高齢者等避難開始発令(市) ○避難所開設(市) ○避難勧告発令(市) ○避難指示(緊急)発令(市)	○避難所開設の支援(常総市との協力体制の確立、必要物品準備等) ○常総市教育委員会または校長の判断により避難の共通理解(準備開始)、保護者への緊急メール配信(常総市防災安全課に連絡) ○常総市教育委員会または校長の判断により避難指示 【常総市鬼怒川洪水ハザードマップ】 ■避難指示→人的被害が発生する可能性が非常に高い、あるいは発生した段階 ■避難勧告→人的被害が発生する可能性が明らかに高まった段階 ■避難準備→人的被害が発生する可能性が高まった状況で、事態の推移によって避難勧告や避難指示の発令を行うことが予想される段階 【利根川ハザードマップ】 ○状況に応じて「利根川ハザードマップ」を活用する。	○インターネットや防災ラジオ等で自宅周辺の状況を確認 【常総市鬼怒川洪水ハザードマップ基準水位観測所における水位】 ■はん濫危険水位→5.5m ■避難判断水位 →4.8m ■はん濫注意水位→3.5m ■水防団待機水位→1.5m ○水害のおそれがある場合は、広報車などからの呼びかけがあるので指示に従って安全かつ速やかに避難する。 ○自宅近辺で浸水、土砂崩れ等のおそれがある場合、家庭の自主判断による安全確保・避難 【利根川ハザードマップ】→状況に応じて活用する。
0時間前	台風最接近、上陸 河川氾濫、土砂崩れ		○テレビ・防災ラジオ・インターネット等による気象・河川・交通情報等の確認	○テレビ・防災ラジオ・インターネット等による気象・河川・交通情報等の確認
6時間後	警報の解除 注意報の解除	○学校の被害状況把握(県教委・市教委) ○児童生徒の安否把握(県教委・市教委) ○学校再開、休校等に関する情報把握、集計(県教委・市教委)	○保護者への引き渡し ○学校内外の被害状況確認 ○教育委員会へ被害報告 ○災害対応、被害の実際を時系列で記録 ○児童生徒の安否確認 ※学校より緊急メールで連絡する。 ※電話等が使えない場合は、NTT災害伝言ダイヤル(171)を活用する。 ○教育委員会に安否確認・登校・休校等の報告	○児童の安否について学校への報告 ※電話等で安否を報告する。 ※電話等が使えない場合は、NTT災害伝言ダイヤル(171)へ伝言依頼する。 ※避難指示後、情報通信機器が途絶えた場合は、保護者に本校体育館に来てもらい、児童を引き渡す。